

職員による自己評価

A業務改善

必要なことはミーティングや会議で共有し、速やかに改善している。今年度は他センターへの見学など外部研修にも積極的に参加した。

B適切な支援の提供

今年度はコロナ禍前の支援に戻すよう努めた。利用者ニーズに応じた支援と、業務の効率化を両立させる工夫の検討は今後も必要。

C関係機関との連携

多職種と連携しながら行っている。引継ぎや公開療育は今年度も継続し、幼稚園保育士研修では通園療育の紹介を行った。

D保護者への説明責任等

クラスよりは写真付きで活動の紹介をするなど工夫している。保護者とは定期的な面談だけでなく臨時面談や電話対応等柔軟に対応。

E非常時等の対応

毎月の通園課内での避難訓練、バス避難訓練に加えて、今年度から引き取り訓練を実施。センター全体の避難訓練で、他部門を含めた訓練が必要。

保護者による評価

A適切な支援の提供

約9割以上の利用者の方に満足していただいている。今年度は、特に丁寧な対応に感謝の声をいただいている。保護者同士の連携については、機会を増やしてほしいとの意見があった。

B保護者への説明等

写真などで活動の説明がありわかりやすいという意見をいただいた。一方で書面だけではなく、オンライン等での配信が可能であれば検討してほしいとの意見があった。

普段の支援の時間や面談等でアドバイスをもらっているという声を多くいただいた。

C非常時等の対応

実施については周知されている。詳細については、保護者も参加する親子通園に対して、単独通園は詳細がわからないとの意見があった。

D満足度

約9割を超える方に満足していただいている。一方で、通園課以外の外来や福祉相談室との連携及び対応について、ご要望をいただいている。

通園課内での分析

【共通点】

- ・昨年度に引き続き、子どもへの直接支援だけではなく、電話対応や面談など保護者（家族）への支援を積極的に行った。

【相違点】

- ・相違点ではないが、情報発信の仕方でもオンライン等の活用についてご意見をいただいている。
- ・避難訓練等については実施の周知はしているが、実施内容等の詳細について伝えきれなかった。

分析・検討してみて…

通園課の強み

- ・子どもへの丁寧な支援のみではなく、保護者へのこまめな対応を行うことで、安心して通ってきていただいている。
- ・単独通園クラスは、予定表などで活動や行事の発信を行っている。

通園課の改善点

- ・保護者への情報発信のツールとして、オンラインの活用を検討。
- ・避難訓練等非常時対応の実施について、実施内容や、避難の手順など詳細の報告を検討。

通園課の改善への取り組み

- ・保護者への発信のツールとして、アプリ等の活用を検討していく。
- ・避難訓練等や非常時対応については、実施の報告だけではなく詳細を伝える工夫を検討する。

～自己評価を行っての通園課としての感想など～

南部センター通園課の運営について、利用者の皆様が関心を持ち、貴重なご意見をいただけて非常に感謝しております。今年度も感染症拡大防止対策を講じながらの運営となりましたが、利用者の皆様にご理解ご協力いただいたこと感謝申し上げます。今年度はコロナ渦前に行っていた支援を積極的に実施してきました。来年度も利用者の皆様により満足していただける支援を模索していきたいと思っております。アンケートのご協力、並びにたくさんのご意見ありがとうございました。